



2023-2024 年度主題
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン（デンマーク）
 “Let Your Shine”
 主 題 「輝かそう、あなたの光を」
 スローガン “Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation”
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子（川越）
 主 題 “Be the light for change”
 「変革のための光となろう」
 スローガン “Shine and empower through fellowship”
 「親睦を通して、輝き、力を得よう」
 東日本区理事 山田 公平（宇都宮）
 主 題 “Instill Confidence in our Youth!”
 「未来のために、学びと気づきを！」
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
 スローガン “Youth Empowerment through SDGs Youth Action”
 「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
 湘南・沖縄部長 黒川 勝（金沢八景）
 「初心に帰り、新たな船出に踏み出そう」
 クラブ会長 久保 勝昭
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動」



2023 年度 会員大会 ―ピースフォーラム―

特別講演「戦争」・「平和」・「未来」の作り方・講師：桃井 和馬 氏
 ～ウクライナ戦争からパレスチナ・イスラエル戦争そして地球環境をかんがえる～

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

桃井和馬氏：1962 生まれ。写真家、ノンフィクション作家、日本写真家協会会員、恵泉女学園大学教授
 第 32 回太陽賞受賞、主要著書に「もう死なせない」「すべての生命にであえて良かった」「希望の大地」
 他多数。 ※講演の最初に採り上げられたのが「コンゴ民主共和国」「ハイチ共和国」です。

講演：コンゴ民主共和国とハイチ共和国の「治安」「教育」の劣悪な環境にある写真が紹介された。
 コンゴは国家の混沌が今も続く為、安易に街中を巡ることは危険性が高く、外出時には常に注意を求められる。ハイチでは長引く不安に加えて首都圏や主要都市においてデモやストライキが断続的に発生し武装集団（ギャング）による誘拐等の犯罪行為が頻発している。

「教育」コンゴにおいて初等教育は必修で無く、無料でも一般的な物でもなく、多くの児童は両親が入学金を支払うことが出来ないため学校に通うことが出来ない。

今、時代は大きく動いています。シリアこの5年間で50万人が亡くなりました。バングラディッシュでは日本人を含む27人が殺害されました。ドイツではイラン人が乱射する事件が起きました。人間が劣化している。トルコではクーデターが起こり、その後、エルドアン大統領の独裁の風が吹き荒れています。時代が大きく動いています。

最後に講演で語られたこと、またこの講演をきいてインターネットで調べたこと（主に桃井教授の談話の中から自分なりに頭の中に入れておきたい文章を載せておく。

・世界を敵に廻して生き残ったやつはいない ・私たち大人は若者に何を伝えていくのか？

Amazing grace、how sweet the sound That saved a wretch like me.
 I once was lost but now am Found,
 was blind but now I see. （驚くべき神の恵み。わたしのような者を救ってくださった美しい響き、かつて迷っていた私は、しかし救い出された。物が見えなくなった私も、今はしっかりと見えています）桃井教授訳



《つるみクラブ 2月例会》

日 時：2024/2/8（木）16:00～18:00
場 所：鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール
出席者：久保、渡邊、久米、駒井、島田、中村、野辺、日野、松井、横山、吉本
欠席者：新改

プログラム

「司会進行」 渡邊光枝 ピアノ：吉本正子

1. 開会点鐘

※ワイズソング・ワイズの信条

2. 会長挨拶

「報告事項」

イ. 1/14(日)東本郷ケアプラザ「うたごえ広場」

ボランティア：久保、吉本、渡邊、久米、松井、中村

ロ. 2/3(土)第二例会 13:00～15:00

鶴見中央地域ケアプラザ ボランティアルーム

2/17のあいねっとフォーラムのパネル作成

ボランティア：久保、久米、松井、中村

「YMCA 報告」 島田所長ご挨拶

1. 「ちょこっと助け隊」 横 山

「1月活動報告」

1/16(火) 鶴見中央 買い物・小銭整理

1/22(月) 鶴見 12 通院同行

1/26(金) 寺谷 掃除

2. ピンクシャッター

「審議事項」

1. 「お楽しみプログラム」・「第二例会」について

の名称変更の件

2. ボランティア・市民活動団体分科会」で活動している「子どもと共に歩む「フリースペースたんぽぽ」(不登校の子どもの居場所)からのお願い。県と市に「不登校の子どもの学びと健康を保証するための施策を求める要望署名」と、「古本募金」(不要になった書籍・DVD・CD 等)の協力をお願いされた件

「お楽しみプログラム」

ピアノ：吉本正子 ギター：久保勝昭

曲目：①花は咲 ②雪 ③焚火 ④夜明の歌 ⑤小指の思い出 ⑥古城 ⑦学生時代 ⑧北の旅人 ⑨津軽のふるさと ⑩丘を越えて ⑪冬のリビエラ ⑫星影のワルツ ⑬ブルーライトヨコハマ ⑭箱根八里 ⑮出船 ⑯待ちぼうけ ⑰いい湯だな ⑱君恋し ⑲ガード下の靴磨き ⑳水戸黄門

「連絡事項」

イ. YMCA 会員大会 2/12(祝)ピースフォーラム
桃井和馬氏講演「戦争」・「平和」・「未来の作り方」

・申し込み必要。(締め切り 2/1)

場所：とつか YMCA 10:00～12:30

ロ. 2月17日(土)あいねっと推進フォーラム

鶴見公会堂 13:30～5:30(開場 13:00)

(久保、久米、日野、中村は、11時集合)

ハ. 2024年3月第二例

日時：3月2日(土) 14:00～

場所：鶴見中央地域ケアプラザボランティアルーム

ニ. 2024年3月例会

日時：3月14日(木) 16:00～8:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ多目的ホール

「閉会点鐘」(集合写真)

(2024年2月 データ)

在籍会員数	例会出席者数		出席率
12名	メンバー	11名	92%
	ビジター	0名	
	合 計	11名	

今後の行事予定

- 2024/3/2(土) 14:00～17:00
「つるみクラブ第二例会」
鶴見中央地域ケアプラザ・ボランティアルーム
- 2024/3/9(土) 18:30～20:30
「横浜北 YMCA・つづきクラブ・つるみクラブ・懇親会」 会場：「花の舞」菊名西口展
- 2024/3/10(土) 14:00～16:00
「東本郷ケアプラザうたごえ広場」 受付 13:30
- 2024/3/14(木) 16:00～18:00
「つるみクラブ 2月例会」
鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール
- 2024/3/21(木) 13:30～15:00
「ボランティア・市民活動団体分科会」
場所：鶴見区福祉活動拠点 多目的研修室



外国人の子育て体験を聞いてみよう

2/10 に鶴見みんなの会（多世代交流サロン）が終了後、鶴見区にお住いの外国人の方に子育て体験を聞く会を実施しました。鶴見区は外国籍在住の方が多く国際交流ラウンジ・鶴見区社会福祉協議会と共同で計画され、ゲストスピーカーに中国、インドの方をお招きし、鶴見区に住んで苦労したことなどのお話を伺いました。



24 名の地域の方に来ていただきました！

鶴見区で子どもを育てて思ったこと、苦労したことを直接聞くことで貴重な時間になりました。

今、外国籍の方に何が必要なのか、地域で出来ることは何だろうか・・・考えていくヒントになったように思います。

（鶴見中央地域ケアプラザ 横山）



ツルのひとこと



♪ 若い頃の趣味「音楽鑑賞」 ♪



今から 50 年程前になる 20 代の頃音楽鑑賞の趣味があった。
ジャンルは映画音楽や軽音楽でそれをオーケストラで聴く事だった。ポールモーリアやレイモン ルフェール、フランク プールセルは好きだった。オーケストラが来日した時、何度か聞きに行った。恋はみずいろ、オリーブの首飾り、ある愛の詩、芝の女王・等、今でもたまに聞きたくなることがあり、スマホを介して聞くことがある。さらに年上の友人（今は故人）がプロのミュージシャンでドラムを担当していてデキシードジャズの演奏家だった。ジャズ奏者の渡辺貞夫と演奏したり、レコードも出していた。その影響もあってジャズもよく聞きに行ったりしていた、そんな事もあって日本の歌謡曲やメロディーにふれる機会が少なかった為、今でもその頃の曲がよくわからない。
又、当時 FMラジオで深夜にやっていた 城 卓也の「ジェットストリーム」が好きで毎日聞いていた。放送の最初に流れるテーマ曲とナレーションがとても良かった為、今で言う「はまった」のだった。いずれも軽快なリズムが感性に合ったのかもしれない。映画音楽は洋画が好きでそのテーマ曲を良く聴いていた、今でも不思議だと思う事は日本映画アニメには全く興味がなく中年になるまで一度も見たことがなかった。しかし現在では 35 年ぐらい前からの演歌は良く聞いている。（野辺 良一 記）

＝ 第18回 鶴見・あいねっと推進フォーラム＝

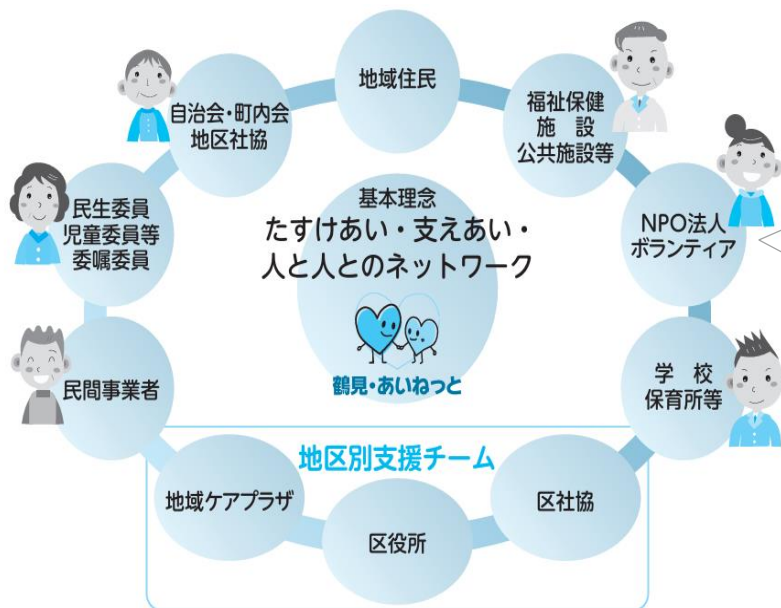
日時：2月17日(土)PM13:30～
場所：鶴見公会堂 15:30

たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク



鶴見・あいねっと
鶴見区地域福祉保健計画

「鶴見・あいねっと」とは…鶴見区地域福祉保健計画の愛称で、「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められたものです。子どもも大人も、障害のある人も誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動を「あいねっと」と呼び、区民の皆様、関係団体・機関、事業所などとともに進めています。



つるみクラブは
ボランティア・
市民活動分科会で
参加。パネル展担当

参加者：久保会長
久米
日野
中村

【第1部】

令和5年度 社会福祉功労者顕彰 感謝状贈呈式

○社会福祉活動功労 3名

○ボランティア活動功労 16名

○善意銀行寄付 (個人1名)・(団体3件)

以上の方々が、渋谷区長と渡邊社会福祉協議会会長から表彰されました。

【第2部】

2団体の活動発表がありました。

○フードドライブ(駒岡地区) ～思いが集まり寄付がつながる～

消費生活の活動であったが、婦人部も協力してくれました。「地域で集めた食品はどうしたらよいのか?・沢山の食品の仕分け作業が大変」ということで、地域の「駒岡一歩舎」に相談する。

活動を理解され、回収ボックスを設置してくださり、仕分け作業も受けてくれました。

「回収ボックスを置くことで、一歩舎の活動を知ってくれるきっかけになった。仕事も増えることで働く人も助かっている。」と喜んでくれました。

たすけあい、支えあいながら、また、新しい活動につながっていくと思う。

○あさひキッズ愛護会【寺尾地区】 ～地域とつながりを広げてまちを明るくしよう～

子どもが自分で何をやったらよいかわかっていけるから、自分たちで考えていけるようになった。

地域、学校などが、子どもたちとかかわり、そのままの場所でまちづくりが、強いつながりになっている。今回は、地域の人が用意してくれた竹で、まちを明るくするためにランタンを作り、保育園や消防署に届け、公園にも飾り付けた。子どもたちの感想を一人ずつ発表した。

☆チームで協力できた力 ☆友だちと一緒に助け合って人とかかわる力 ☆意見をまとめる力

☆積極的に人とかかわる力 ☆地域の人たちとかかわる力 違うクラスの人とかかわる力

☆人とかかわる力 ☆竹ランタンで協力する力 ☆コミュニケーション力